

ごあいさつ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、北里大学大学院薬学研究科臨床統計部門と、ハーバード公衆衛生学大学院生物統計部門は2000年1月より学術交流協定を締結致しました。これにより、相互の理解を深め、より幅広い学術活動を共同で進めております。この度、その一環としてシリーズで下記のようにシンポジウムを開催する運びとなりました。

良い薬をどの地域にも公平に且つより早く臨床の場に供するために、現在では世界規模での新薬開発が盛んに行われています。今回開催のシンポジウムは「Global Drug Development Techniques: Bridging Strategies」と題し、そのKeyとなるBridging Strategyに焦点を当てております。Ethnic differences, Bridging strategies, Future strategies and challengesをトピックとして取り上げ、演者の方々からご講演を頂き、各々トピック毎に西洋及び、東洋の見地からのご討議の場を提供致します。この機会に研究・教育機関、製薬業界、行政機関から多数の方々のご参加を期待致しており、ぜひご参加頂きたく、ご案内申し上げます。

敬 具

北里大学大学院薬学研究科教授

世話人 竹内 正弘

Stephen W. Lagakos
Professor of Biostatistics
Harvard School of Public Health

会場ご案内図

東京全日空ホテル

東京都港区赤坂 1-12-33
TEL: 03-3505-1111



- 羽田空港から車で30分
- 東京駅から車15分
- 地下鉄銀座線・南北線溜池山王駅13番出口より徒歩1分、赤坂・六本木・国会議事堂前駅より徒歩10分
- 最寄りバス停は、都バス赤坂アーキヒルズ前 (JR新橋駅よりバス10分)
- 駐車場は500台収容できます。

Kitasato University-Harvard School of Public Health Symposium on Global Drug Development Techniques: Bridging Strategies

Sponsored by

Pfizer Health Research Foundation

2000年10月5日(木)～6日(金)

東京全日空ホテル
B1F「鳳の間」